大 会 要 項

大　　会　　名	マルトモ Presents「道場わっしょい！ in 愛媛」2026
テ　　ー　　マ	「親子の絆」、「柔道の本質」、「道場の発展」
目　　的	柔道を通じて親子の絆を深め、道場間の交流をはかるとともに、柔道の楽しみを見出し少年柔道の普及・発展に寄与することを目的とする。
大会スケジュール	○令和８年11月28日(土) 実施場所:柔道場 14:00 柔道教室受付 14:30 柔道教室(講師:中村 美里 氏、永瀬 貴規 氏) ○令和８年11月29日(日) 09:00 開場・受付 09:30 審判会議 10:00 開会式 10:10 集合写真 10:15 JSPO-ACP(参加者・一般) ゲストプログラム(石鎚 山太郎 氏) 11:00 種目説明 11:20 リーグ前半戦 12:40 休憩・JSPO-ACP(一般) 13:10 リーグ後半戦 14:30 ジャンケン大会 14:50 表彰式・閉会式 ※柔道教室のみ、または大会のみの参加も可とする。
会　　場	愛媛県武道館(愛媛県松山市市坪西町551)
主　　催	公益財団法人全日本柔道連盟
共　　催	一般社団法人スポーツひのまるキッズ協会
主　　管	一般財団法人愛媛県柔道協会
協　　賛	マルトモ株式会社、ネッツトヨタ愛媛株式会社、株式会社ハッピーファーマシー、星晃設備工業株式会社、ABC 開発株式会社
後援（予定）	四国柔道連盟、愛媛県、愛媛県教育委員会、松山市、松山市教育委員会、公益財団法人愛媛県スポーツ協会 、公益財団法人愛媛県スポーツ振興事業団、愛媛新聞社、南海放送、テレビ愛媛、あいテレビ、愛媛朝日テレビ
参加申込締切	令和８年11月６日(金)
申　込　方　法	先着順とし、参加限度数を超えた時点で受付終了とする 申込は下記URLより、申込フォームへ回答すること URL:柔道教室　https://form.run/@wassyoiehimekyoushitsu 大会　https://form.run/@wassyoiehimetaikai ◎大会に関する問い合わせ先 全日本柔道連盟 新事業開発室 TEL: 03-3818-4688 Mail: projectdev@judo.or.jp
参　加　資　格	今年度(2026年度)全日本柔道連盟に登録している道場に所属をしていること。 ※複数の道場が合併した「混合チーム」での出場も可とする。 ※家族・友人は未経験者も可とする。柔道をはじめて３ヵ月未満のものは、未経験者とする。
チーム編成	１チーム ３名～6名の小学生と出場選手の保護者又は道場指導者で構成する(4 名～7 名) 1 人が出場できる種目は 2 種目までとし、大将戦のチーム DE 綱引きは、出場選手の保護者又は道場指導者が出場する ※ただし 4～6 年生対象の種目で人数が満たない場合は、1～3 年生が出場することを認める(副将戦は不可)
イベント内容	団体戦は、先鋒から大将まで以下の種目で対戦し、各種目において必ず勝敗を決する。また、次鋒、五将、中堅 は A・Bの２つのパターンを設定し、審判のくじ引き結果により、いずれかのパターンで実施する。 【先鋒】 受身コンテスト （後受身・横受身(左・右)・前受身・前回り受身(左・右))※1～3 年生 【次鋒】 寝技補強レース （A.えび・逆えび、B.しぼり・えび)※4～6 年生 【五将】 ACP種目 （A.ボール集め、B.からだじゃんけん 3 本勝負)※1～3 年生で柔道未経験者 【中堅】 ACP種目 （A.しっぽ取り、B.ひよこの戦い)※4～6 年生 【三将】 打込コンテスト（背負投・大外刈 各 10 回)※1～6 年生 【副将】 柔道対戦 ※4～6 年生 【大将】 チームDEつなひき(チーム代表者 3 名 4～6 年の経験者２名、指導者または保護者 1 名) ※三将・打込コンテストは、原則として子ども同士で行うことを前提とするが、やむを得ない場合(受が用意で きない等)には、大人(大将に入る保護者もしくは指導者)が受けることも認める。ただし、大人が受けること で見栄えが向上する可能性が高いため、その際は審判員の主観により判定を行う。 ※副将は、柔道経験が 6 ヵ月未満の者は出場できない。
団体戦進行方法	団体戦はリーグ戦とする。試合は4～6 試合場にて行い、全ての試合進行を同時に行う。 先鋒の受け身コンテストは、礼法の所作、受身の形と流れを採点の基準とする 次鋒の寝技補強レースでは、スピードと形、正確さを採点の基準とする 五将・中堅はJSPO-ACPの種目を適用する 五将 A.ボール集めでは、礼法後に赤畳まで移動し、一直線に並んだ 4 つのボールを 1 つずつスタート地点の器 に運んで、その速さを競う(どのボールから運んでも可) なお、ボールが器からこぼれた場合や、2 個以上のボールを同時に運んだ場合は、やり直しとする

	B.からだじゃんけんでは、礼法後に 2 人で向かい合い、からだを大きく使ってじゃんけんを行う。審判員の「最初はグー、じゃんけんぽん！」の「ぽん！」で、全身でグー・チョキ・パーのポーズをとる。3 本中 2 本先取し たものを勝ちとする。 中堅、A.しっぽ取りでは、赤帯を帯またはズボンに挟み、お互い右手で握手をし「はじめ」の合図で、左手で帯 を取りあう。手が離れた場合は「待て」、1 分間で勝敗がつかない場合は「じゃんけん」にて必ず勝敗を決する B.ひよこの戦いでは、礼法後に、両者ともにしゃがんだ姿勢で自身の足首をつかむ。審判員の「はじめ」の合図で、お互い歩み寄り体と体でぶつかり合う。足首から手が離れるもしくは倒れたら決着となる。制限時間 1 分間で決着が着かない場合は、じゃんけんにより必ず勝敗をつける。なお、足首をつかんでいる手が離れたり、倒れそうになり、畳に手を着いてしまった場合は負けとなる 副将は、通常の試合同様、礼法後に試合を行う。試合は国際柔道連盟試合審判規程及び大会特別規定を採用し、 優劣を決するポイントがない、もしくは指導差が 1 以内の場合は、旗判定で必ず勝敗を決する 大将は、各チーム代表 3 人(4～6 年の経験者 2 名、指導者または保護者 1 名)による綱引きを 行う。礼法後、お互いに綱を持ち、審判員の「はじめ」の合図で一斉に綱を引く。綱の真ん中が自陣の開始戦を超えたチームの勝ちとする。ただし 1 分間で勝敗がつかない場合は、試合場中心より自陣の開始線に近いチームの勝ちとする
表　　彰	各リーグで 1 位となったチームを表彰する。 1 チーム「マルトモ賞」を表彰する。 ※子どもたちが楽しく柔道に取り組み、初心者や低年齢層を積極的に受け入れ、指導者・保護者・子どもたちが良好な関係を築きながら、今後さらなる活動・発展が期待されるチームを表彰する。 1チーム「 Best of わっしょい！賞」を表彰する。 ※出場選手、ならびに保護者・指導者が、大会の趣旨に則り、礼儀正しく最高に盛り上げ、楽しんだチームを表彰する。(選考は各試合場スタッフからの推薦により主催者が決定する。)
ゼ　ッ　ケ　ン	ゼッケンについては、以下のとおりに定める。 (1)各自で下記の要領で縫い付けること。 (2)布地は白色(晒太綾)で、サイズは、横 30cm～35cm、縦 25cm～30cm とする。 (3)上部 2/3 に苗字、下部 1/3 に所属名を表記する。 書体は楷書で、ゴシック体または明朝体を用いること。 (4)男子は黒字、女子は赤字とする。 (5)縫い付けの場所は後襟から 5～10 ㎝下部とし、対角線にも強い糸で縫い付ける。 ※未経験者は柔道衣を着用しなくても参加することができる。
そ　の　他	(1)会場への入場は入場 ID シールを貼っている者だけに制限する。 (2) 11 月 29 日の開館は 9:00 であるが、主催者の指示に従うこととする。 (3)持ち物には必ず記名し、貴重品は各参加団体で責任をもって管理を行う。 (4)参加にあたっては、健康な状態であること。 競技中に体調を崩した場合は、保護者・道場指導者より大会主催者に棄権する旨を申し出ること。 (5)皮膚真菌症(トンスランス感染症)について、発症の有無を各所属の責任において必ず確認すること。 感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、迅速に医療機関において、的確な治療を行うこと。 選手に皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、大会への出場はできない。 (6)脳震盪について、以下とおりとする。 ①大会前 1 ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。 ②大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは認めない。 (なお、至急、専門医(脳神経外科)の精密検査を受けること。) ③練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。 (7)競技の特性上、責任ある者が付添い、引率者(指導者もしくは保護者)がいない場合は出場を認めない。
〈 免 責 事 項 〉	1. 主催者は、選手に対する傷害保険に加入すると共に、試合場に医師を配置し大会開催中の事故、傷病等の応急処置を行う。なお各道場にて大会申し込み手続きのほか、必ず公益財団法人全日本柔道連盟への選手登録(全柔連登録)を行うこと。 2. 大会会場への往復中の事故・地震・風水害・降雪・事件については、主催者は一切責任を負わない。交通安全には十分注意のうえ、ゆとりを持って行動すること。また諸事情により大会が中止となった際の準備、移動などに関わる費用についても、主催者は責任を負わない。 3. 参加申込書に記載された個人情報、イベント中に撮影された写真、または動画等の映像が、柔道教室内外の掲示板等、 全柔連ホームページ、ユーチューブチャンネルに掲載される場合がある。また、その他の報道機関等により新聞、雑誌、テレビ局等の企業により、イベントを撮影した映像の中継・録画放送が、テレビ放映及びインターネット配信されることがある。提出された個人情報については、上記の利用目的以外に利用しない。参加申込書の提出により、個人情報、肖像権についての上記取り扱いに関する承諾を得たものとして対応する。 4. 主催者は、上記の申込規約の他、各大会規約に則って開催する。

